

平成22年度「宇北高等学校評価アンケート」まとめ

1 調査の概要

学校評価の一環として、本校を保護者、生徒、教職員はどうとらえているかを調査した。本年度の重点目標である4項目を含め、可能な限り共通の質問を用い、3者の意識の違いを比較した。また昨年の結果との比較も行った。

答え方についてはA:大いにそう思う、B:そう思う、C:あまり思わない、D:全く思わない、の4つの選択肢を用い、保護者対象のものだけE:わからない、を加えた。

	生徒	保護者	教職員
回答者数	851	765	51
回答率	94.9%	85.3%	98.1%
調査日	H22年11月	H22年11月	H22年12月

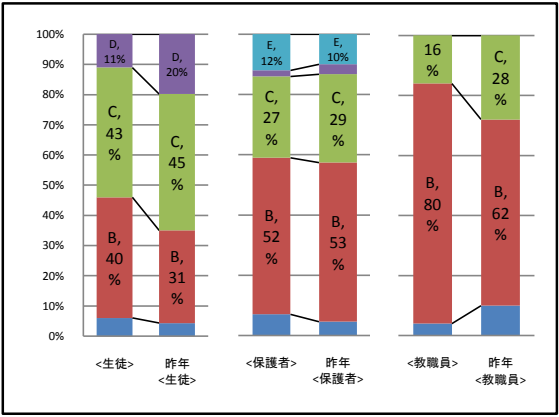
2 質問事項と集計結果

【 A,大いにそう思う B,そう思う C,あまり思わない D,まったく思わない E,わからない 】

【重点目標①】

学力の伸長

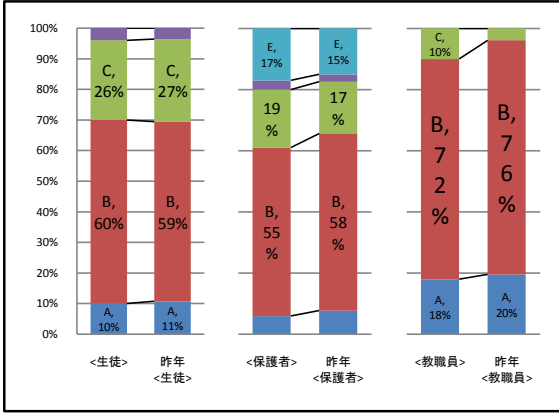
<生徒>	私は、宇北高に入学して学力が向上している。
<保護者>	宇北高の教育は入学した生徒の学力を伸ばしている。
<教職員>	本校の教員は、授業を通して、確実に学力を付けさせている。
保護者の60%、教職員の80%以上が肯定的に捉えているが、生徒は46%であり、3者の意識の差が表れた。生徒の場合、昨年は35%が肯定的に答えていたが、本年は「大いにそう思う」「そう思う」の割合が10%以上増加した。学力向上を実感できる教育活動を一層進める必要がある。	



【重点目標②】

進路の実現

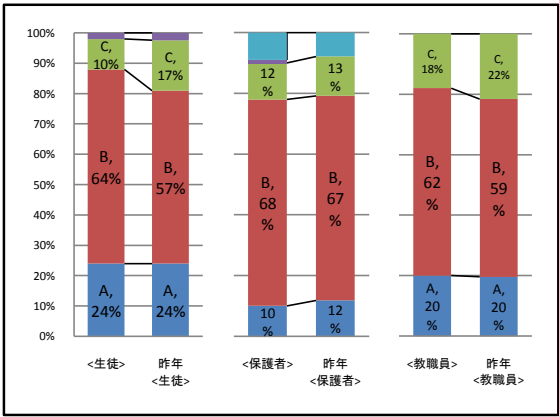
<生徒>	宇北高の先生は、生徒の進路について、生徒の適性を生かし希望の実現につながる進路指導を行っている。
<保護者>	宇北高の先生は、生徒の進路について、生徒の適性を生かし希望の実現につながる進路指導を行っている。
<教職員>	本校の教員は、生徒の進路について、生徒の適性を生かし希望の実現につながる進路指導を行っている。
肯定的な回答については、教職員に比べ生徒や保護者が20%以上低くなっている傾向に変化はない。生徒の意識は昨年とほとんど変化がない。 進路達成状況、結果の向上に向けて学校全体のさらなる努力が必要である。	



【重点目標③】

ルール・マナーの遵守

<生徒>	宇北高の先生は、生徒に対してルールやマナーを守るよう指導に努めている。
<保護者>	宇北高の先生は、生徒に対してルールやマナーを守るよう指導に努めている。
<教職員>	本校の教員は、生徒に対してルールやマナーを守るよう指導に努めている。
昨年から引き続いて3者とも約80%が「大いにそう思う」「そう思う」と回答し、中でも生徒の90%が肯定的に回答し、昨年より10%近く増加している。本年の取り組みが大いに評価された結果となっている。	

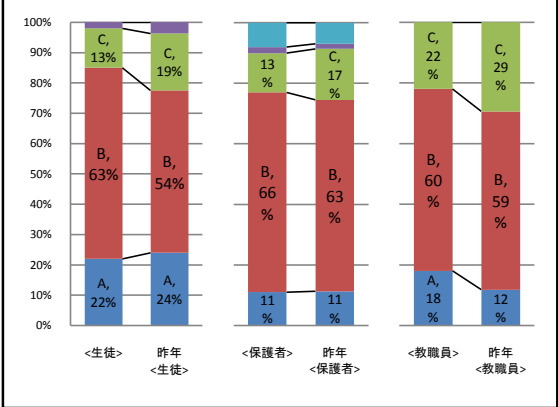


【 A,大いにそう思う B,そう思う C,あまり思わない D,まったく思わない E,わからない 】

【重点目標④】

生活指導の徹底

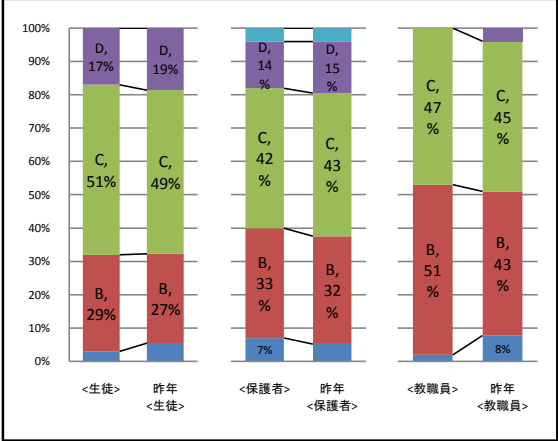
＜生徒＞	宇北高の先生は、生徒の生活面(服装、遅刻、礼儀、交通安全等)についてきちんとした指導を行っている。
＜保護者＞	宇北高の先生は、生徒に生活面(服装、遅刻、礼儀、交通安全等)についてきちんとした指導を行っている。
＜教職員＞	本校の教員は、生徒の生活面(服装、遅刻、礼儀、交通安全等)についてきちんとした指導を行っている。
昨年と比べ3者とも肯定的回答が増加している。特に生徒の回答は良好な結果になっている。昨年から引き続いて生活指導の徹底が浸透し、意識が高まっていると言える。 職員間や学校、家庭間の共通理解のもと、一層の指導が必要である。	



【学習指導①】

予習復習の徹底

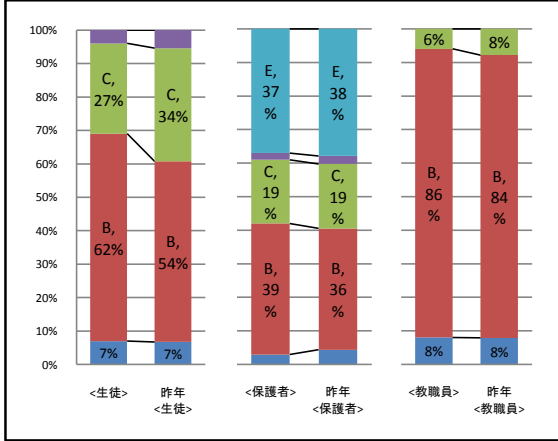
＜生徒＞	私は、毎日予習復習をして授業に臨んでいる。
＜保護者＞	私の子供は、毎日予習・復習をして授業に臨んでいる。
＜教職員＞	本校の教員は、毎日の予習復習など家庭学習の習慣を身に付けさせている。
生徒の肯定的な回答は32%で教職員の認識に比べかなりギャップがある。この結果は昨年と比べてもほとんど変化がない。学年別に見ると1年生では肯定的回答が24%、3年生が45%であった。自立学習講座など初期段階から学習する方向に向かわせる努力が継続して必要である。	



【学習指導②】

わかりやすい授業

＜生徒＞	宇北高の先生はわかりやすい授業を行っている。
＜保護者＞	宇北高の先生はわかりやすい授業を行っている。
＜教職員＞	本校の教員はわかりやすい授業を行っている。
教職員は少しでもわかりやすい授業を提供しようと努力していることが伺える。生徒の否定的回答が昨年に比べ10%近く減少したことはよいことである。しかしまだ改善の余地は残されている。	

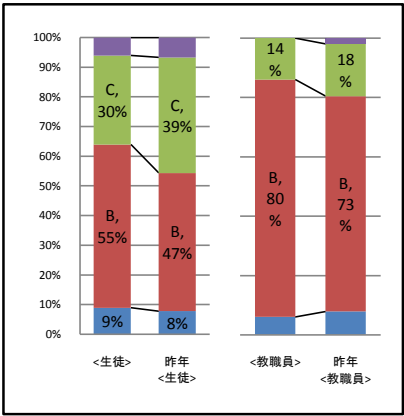


【 A,大いにそう思う B,そう思う C,あまり思わない D,まったく思わない E,わからない 】

【 学習指導 ③ 】

テスト後の解説

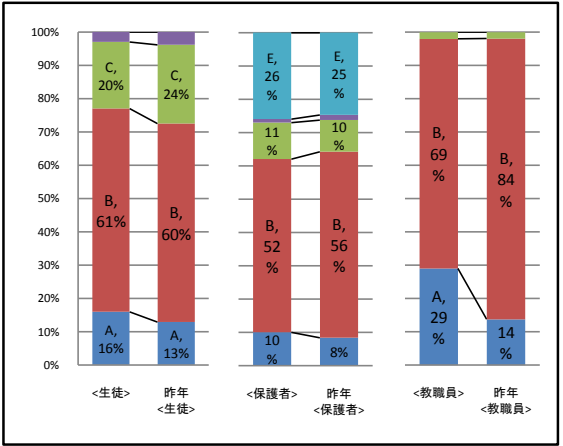
＜生 徒＞	宇北高の先生はテスト後に問題を丁寧に解説してくれる。
＜教職員＞	本校の教員はテスト後に問題を丁寧に解説している。
昨年同様、両者の意識のずれはあるが、生徒の肯定的回答が10%程度増加したことはよいことである。一層の工夫改善を図る必要がある。	



【 生活指導 ① 】

生徒からの相談

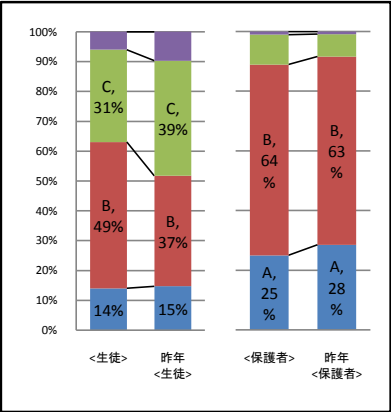
＜生 徒＞	宇北高の先生は生徒からの相談に誠実に対応してくれている。
＜保護者＞	宇北高の先生は、生徒からの相談に誠実に対応してくれている。
＜教職員＞	本校の教員は生徒からの相談に誠実に対応している。
昨年に比べ、肯定的な回答の割合は生徒、保護者とも大きな変化はなかった。生徒の80%近くがよい評価をしているが、20%が否定的な評価をしているのも事実である。生徒のニーズに応えられる更なる努力が求められる。	



【 生活指導 ② 】

規則の遵守

＜生 徒＞	宇北高生は、服装、頭髪など学校の規則を守っている。
＜保護者＞	私は、子供の服装、頭髪、交友関係や遅刻等に常に関心を払っている。
生徒の肯定的な回答の割合が昨年は52%であったが、本年は63%と11%も上昇している。重点目標④で生活指導は徹底されていると感じる生徒の割合は85%であるが、実際に守っていると評価している割合も増えたと言える。	

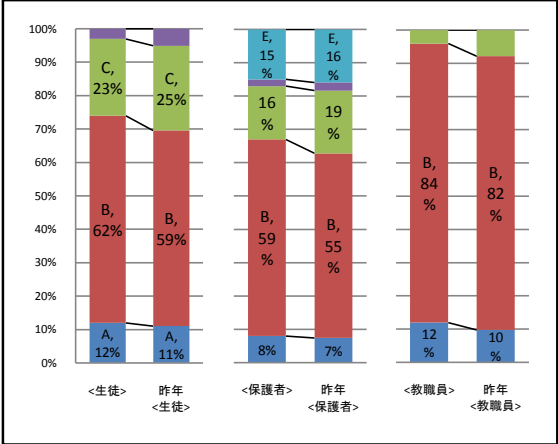


【 A,大いにそう思う B,そう思う C,あまり思わない D,まったく思わない E,わからない 】

【進路指導】

進路情報

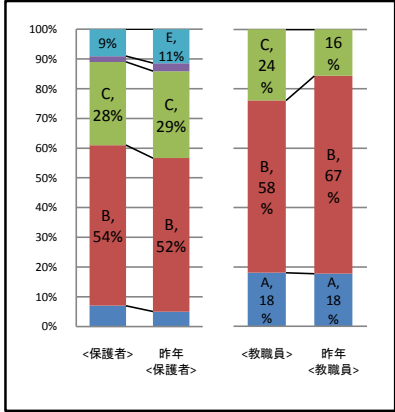
＜生徒＞	宇北高が提供する進路情報は、役に立っている。
＜保護者＞	宇北高が提供する進路情報は、役に立っている。
＜教職員＞	本校が提供する進路情報は、役に立っている。
生徒と保護者の肯定的回答の割合が昨年より増加し、進路情報を提供する取り組みがより向上したと言える。	



【情報発信】

教育方針や情報の伝達

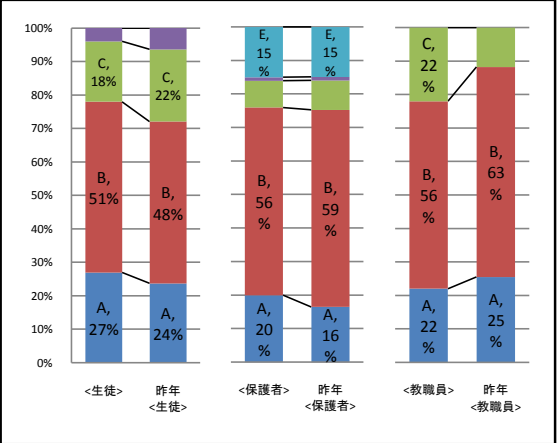
＜保護者＞	宇北高は、教育方針や学校の情報を保護者に積極的に伝えている。
＜教職員＞	本校は教育方針や学校の情報を保護者に積極的に伝えている。
肯定的な回答は保護者が61%、教職員が73%となっており、保護者は微増だが、教職員は10%以上減少している。学校の情報伝達の手段と方法について、さらに有効な方法を検討する必要がある。	



【国際理解教育】

内容の充実

＜生徒＞	宇北高の国際理解教育は他校に対して誇れる充実した内容である。
＜保護者＞	宇北高の国際理解教育は他校に対して誇れる充実した内容である。
＜教職員＞	本校の国際理解教育は他校に対して誇れる充実した内容である。
昨年同様3者とも肯定的な回答が70%を超え、生徒と保護者は微増となっている。一層の内容の充実と精選が求められる。	

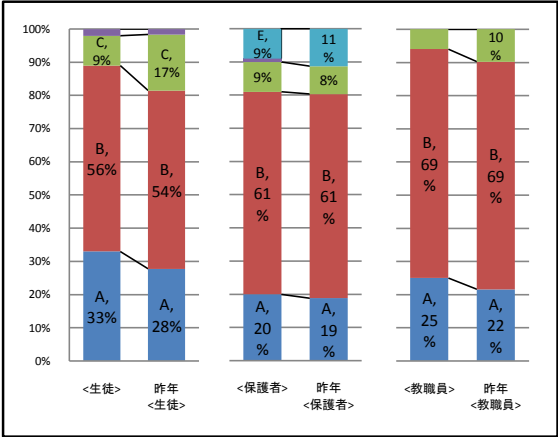


【 A,大いにそう思う B,そう思う C,あまり思わない D,まったく思わない E,わからない 】

【 部活動 】

活発さ

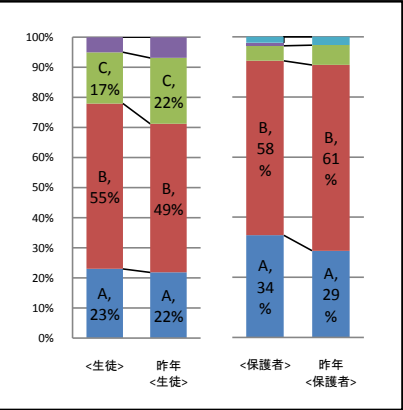
＜生 徒＞	宇北高は、部活動・生徒会活動が活発に行われている。
＜保護者＞	宇北高は、部活動・生徒会活動が活発に行われている。
＜教職員＞	本校は、部活動・生徒会活動が活発に行われている。
保護者、教職員とも昨年と比べ変化はないが、生徒の肯定的回答の割合は89%と増加した。全体的に良好な数値である。	



【 教育活動全般 ① 】

宇北高生としての誇り

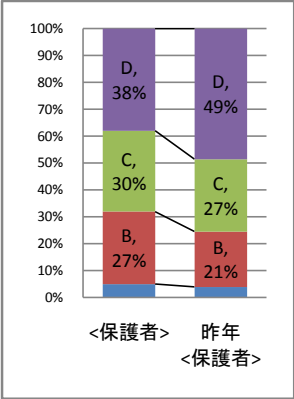
＜生 徒＞	私は、宇北高の生徒であることに誇りをもっている。
＜保護者＞	私は、子供が宇北高の生徒であることに誇りをもっている。
92%の保護者が子供が宇北高の生徒であることに誇りを持っているのに対し、生徒は78%である。昨年より生徒の肯定的回答は増加した。	



【教育活動全般 ②】

ホームページ

＜保護者＞	宇北高のホームページを見ている。
全体としてホームページを見ている割合は昨年に比べ、大幅に増加している。学校での教育活動をホームページを見て理解することが多くなり、一層の内容の充実が必要である。	

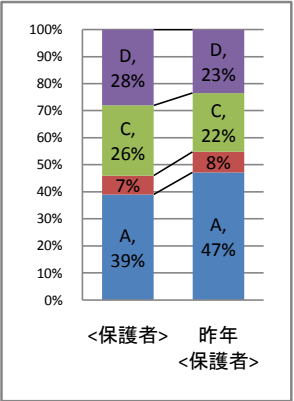


D,見ていない
C,1～2回見たことがある
B,時々見る

【教育活動全般 ③】

PTA総会・学年部会への参加

＜保護者＞	私はPTA総会や学年部会に参加した。 (授業参観のみを含む)
両方に参加した割合が減り、どちらも不参加の割合が増えたのは残念である。総会や学年部会により多くの保護者に来てもらえるよう持ち方等を検討する必要がある。	



D,どちらも不参加
C,学年部会のみ参加した
B,PTA総会のみ参加した

3 改善に向けた今後の取り組み

本アンケートの結果及び校内各部・各学年、学校評議員、学校関係者からの評価も踏まえ、本年度重点目標の達成状況や達成に向けた取り組みの状況を把握整理した上で、来年度に向けた改善方策を検討を行い、重点目標を設定する。